

辻泰弘 国会ニュース

2001年11月9日 NO. 2

厚生労働委員会にて国会質問第2弾

雇用対策、解雇ルールの法制化、狂牛病問題を質す



辻泰弘は、11月6日、参議院厚生労働委員会で坂口厚生労働大臣に対して、二度目の質問を行いました。今回は、狂牛病（BSE）問題などについての集中審議でした。

辻泰弘は、かねてよりの「全力投球」の公約通り、質問者としての決定以降、1週間強にわたり夜中まで牛舎（議員会館）に陣取って調査に没頭し、厚生労働省、農林水産省の鈍牛官僚各氏からの「激しい恨み」を買いながらも、夜道の一人歩きに十分気を付けつつ、徹底的に「牛」を追いかけ、質問直前の夜には、夢の中に牛が出てきて追いかける場面で目が覚めるほどに、またまた頑張ってしまったのです。

そのため、当日は疲れ目でショボショボ。風邪気味で頭痛をかこちながらの質問でした。これからも庶民の幸せを求めて全力投球!

以下、雇用問題を中心に大臣とのやりとりの概要をご報告します。

◆雇用の緊急事態宣言を!

辻泰弘 家計調査報告などを見ても、牛肉の消費が大きく落ち込んでいる。

9月の完全失業率は5.3%。今後テロ、狂牛病の影響が一層本格化し、雇用情勢が悪化する可能性が高い。

坂口大臣自身も「雇用情勢は緊急事態を迎えた。今後失業問題がさらに深刻化する」と語っている。

このような事態を受け、政府は内閣として小泉総理自らが雇用の緊急事態宣言を行うべきではないか。

坂口大臣 提出が予定されている補正予算では、約1兆円の総額のうちの55%にあたる5,500億円が雇用対策にあてられている。このことは小泉総理が緊急事態であると考えている証拠だ。

◆政府の雇用対策は不十分

辻泰弘 坂口大臣は現在の厳しい経済・雇用情勢に対して厚生労働省の施策だけでは限界があると語り、第二次補正予算の必要性をも示唆している。

近く提出予定の雇用対策（補正予算、緊急雇用対策法）だけでは不十分だ。

坂口大臣 失業率や有効求人倍率など雇用の問題はいわば出口の問題だ。

入口にあたる経済そのものがどうなるかが大きい。厚生労働省は雇用対策に力を尽くすが、同時に経済全体のことも考えていかなければならない。一次補正の提出前に二次補正の議論はできない。

補正予算の成立をはかり、3,500億円の緊急地域雇用特別交付金などを効果的に運用していきたい。

◆政労使一体で雇用安定の努力を!

辻泰弘 10月18日、連合・日経連は、雇用に関する社会合意宣言を出した。

その内容は、「経営側は雇用を維持・創出、失業を抑制する。労働側は賃上げについて柔軟に対応する。両者はワークシェアリングに向けて合意に取り組む」というものだ。

労使のこのような取り組みに対して、政府としても、予算や雇用対策を通じて全面的にバックアップするので労使ともに雇用の安定に力を尽くしてほしいと政労使雇用対策会議で要請すべきだ。

坂口大臣 連合・日経連の合意の中で、これまでの考え方に大きな開きのあったワークシェアリングについて、労使がかなり歩み寄ってやっていこうという合意ができたことは注目に値する。

11月9日の政労使雇用対策会議においても積極的に議論し、実りある効果が得られるようにしたい。

◆安易な解雇ルールの法制化は問題

辻泰弘 坂口大臣は解雇ルールの法制化の方針を示している。

大変厳しい雇用情勢の下、大臣が安易な解雇に積極的であると受け取られかねない発言は問題だ。

坂口大臣 雇用形態の多様化の状況の中で、いま一度議論すべき問題だ。自分自身の考え方を持っているわけではない。これから議論し、結論を得てから法制化したい、という趣旨だ。

◆医療制度改革のスケジュール

辻泰弘 大臣は医療制度改革の日程は、経済動向も影響してくると語っているが今後のスケジュールは・・・。

坂口大臣 予定通りにいくかどうかわからないが、希望としては11月15日前後にまとめてもらい、20日～25日ぐらいの間に、最終の結論を得たいと思っている。

ご意見・ご要望等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

<兵庫県事務所> ☎650-0004

兵庫県神戸市中央区中山手通4-17-2セントラルビル3F TEL078-230-8824 / FAX078-230-8825

<東京事務所> ☎100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館402号室 TEL03-3508-8402 / FAX 03-5512-2402